

# スーパースマイル

2016年（平成28年）新春号（vol.84-2）くしま矯正歯科通信

545-0011 大阪市阿倍野区昭和町1-21-22 徳山ビル4F

TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878

[info@kushima-ortho.com](mailto:info@kushima-ortho.com)

<http://www.kushima-ortho.com>



この3月1日で開院34年になります。

最近では30年くらい前に当院でお母さんやお父さんを矯正した方が、今度はご自身のお子さんの矯正を希望して来院される方も多くなりました。

「自分が治して良かったから子供にも」という事です。まさに矯正歯科に携わる歯科医師冥利に尽きることです。

矯正装置を何年も入れることはつらいことですが、何十年経つと磨きやすいので虫歯になりにくくなった、歯茎も改善された、見た目にも清潔感がでるなど様々なメリットがあるのでご自身の子供さんたちにも受けさせて下さるのだろうと思います。

スタッフや診療機器などますますそろってきましたし、昨年夏からは旧スタッフである高尾 亜琴さんも応援に手伝ってくれて助かっています。今年もより良い治療をめざして診療を行いますのでよろしくお願いします。

1月11日の成人の日に大阪大学中之島センターで大阪大学矯正学講座の同友会がありました。山城教授をはじめ70-80名が集まったのですが、

いつの間にやら年齢的には上から2番目になっていましたが多くの仲間と旧交を温めることが出来ました。

そんな中で大変うれしいニュースがありました。東北大学歯学部矯正学講座教授の山本照子先生がハーバード大学歯学部からGoldhaber Award という賞を受賞されたということです。

**Goldhaber Award** とは、ハーバード大学歯学部が歯科医学界で顕著な業績を上げてこられた先生方を世界中から毎年一人選考し、その業績をたたえるものです。過去の受賞者はいずれも教科書に名前が残るような素晴らしい業績の方ばかりです。

山本先生は阪大で私の5年後輩になります。阪大矯正学講座に入局時、私の臨床グループに入り、直接矯正治療のイロハの手ほどきをし、私にとって妹弟子になる先生です。先生が入局して最初に症例報告というものを書くよう指示し、連名で学会雑誌に投稿したことがありました。ほとんど矯正についての多くの知識のない中で書いたのですが、先輩であった私すら考えな



かったような視点から論文を書いており驚いたことがつい最近のように思い出します。もともと学生時代に優等賞をもらうほど良く出来る先生でしたが、長年地道な研究をされこの素晴らしい賞を受けられたのです。先生は基礎系の研究のみならず臨床医としても多くの実績をあげられています。

先生が岡山大学の教授時代には現在副院長をしている息子の指導をお願いして、副院長も無事大学院の仕事を終えることができました。そんなわけで親子そろっての交流があるわけです。先生の教え子達は現在あちらこちらの教授となって頑張っています。

この春に定年退官をされるので仙台で退官記念講演会があり、世界からの著名な先生方の講演もあります。副院長と一緒に参加する予定です。